

平成25年度採用分特別研究員申請書作成要領

I	申請書の作成について	1
II	「申請書情報」の入力について	1
III	「申請内容ファイル」の作成について	10
IV	申請書の添付書類について	11

I 申請書の作成について

(1) 申請書は、「申請書情報」と「申請内容ファイル」から構成されます。

「申請書情報」は電子申請システムに必要な情報を Web 上から入力し、作成された PDF ファイルを印刷するもので、申請書の P. 1～2 となります。

「申請内容ファイル」は、本会ホームページからダウンロードした電子ファイル（Word 等）を編集して作成するもので、申請書の P. 3以降となります。（DC 10 ページ目、PD 12 ページ目は空白ページです。）

電子申請システムを通じて登録される申請書情報のデータと、紙で提出される申請書の 2 つが揃わないと正式な申請となりません。また、両者の内容が一致しない場合も無効となります。

特に紙に印刷して提出する「申請書情報」の「版数」の表示と、電子申請システムで登録した電子データの版数が不一致にならないよう注意してください。

電子申請システムで「完了」処理後に「申請書情報」に記載する内容に変更が生じた場合は、申請機関担当者（又は部局担当者）に連絡をし、修正を行ってください。紙媒体の「申請書情報」のみで変更を行わないでください。

(2) 申請書に新たに用紙を加えることはできません。本会が指定した書類（下記IV参照）以外（論文の写しなど）も添付できません。もし、該当するものがあつた場合は、審査にあたり不利益を生じることがあります。

(3) 「大学院在学当時の所属研究室（出身研究室）選定理由書」、「外国人登録済証明書」、「休学証明書」、「臨床研修の期間を証明する書類」、「採録決定を証明する書類」又は「国際会議等の発表申し込みの受理を証明する書類」を添付する場合は、DC 申請書の場合 P. 10、PD 申請書の場合 P. 12 の後に添付してください。ただし、「外国人登録済証明書」、「休学証明書」、「臨床研修の期間を証明する書類」は原本のみに添付してください。

(4) 原本、写しともに、A4 判、両面印刷としてください。なお、原本と写しの内容が不一致にならないよう注意してください。原本をカラー印刷で作成した場合は、写しもカラーで作成してください。また、DC 110 頁、PD 12 頁の空白ページについても、元のファイルどおり全て省略せずに印刷してください。

II 「申請書情報」の入力について

(1) 「申請書情報」（申請書の P. 1～2）については、必ず電子申請システムを用いて作成してください。

(2) 電子申請システムの利用にあたっては、「研究者養成事業用申請者向け操作手引」を併せて参照してください。

(3) 「申請書情報」の修正は、必ず電子申請システムを通じて行ってください。紙に印刷したものを直接修正しないでください。

(4) 「申請書情報」P. 1 の右上隅を黒塗りしてください。（印刷後、余白が生じている場合はフェルトペン等で塗りつぶしてください。）

(5) 「受付番号」及び「版数」は電子申請システムが自動的に付番し、PDF ファイルに表示されます。一時保存したのみでは付番されません。また、申請書情報入力画面には表示されません。

番号		項目	入力要領
DC	PD		
DC ①	PD ①	申請資格	「受付中公募一覧」画面で選択した「DC1」「DC2」「PD」のいずれかが表示されます。
DC ⑤	PD ⑤	分科・細目コード	「一覧」ボタンをクリックして「分科・細目コード表」を参照の上、入力してください。
DC ③	PD ③	分科	「分科・細目コード」を入力すれば、コード表に基づき対応する「分科」名が確認画面に表示されます。
DC ④	PD ④	細目	「分科・細目コード」を入力すれば、コード表に基づき対応する「細目」名が確認画面に表示されます。
DC ②	PD ②	審査領域	「分科・細目コード」を入力すれば、コード表に基づき、その分科・細目に対応する「領域」が、PDFファイルに表示されます。審査はその領域において行なわれます。ただし、『総合領域』又は『複合新領域』で審査を希望する者（即ち⑤「分科・細目コード」欄に「分科・細目コード表」中の1001～2701を入力した者）の場合は、次項を参照してください。
		審査希望領域（総合領域・複合新領域の場合）	『総合領域』又は『複合新領域』で審査を希望する者（即ち⑤「分科・細目コード」欄に1001～2701を入力した者）のみ、当該分科・細目についての「審査を希望することが可能な領域」（「分科・細目コード表」参照）を画面のプルダウンメニューから選択してください。『総合領域』・『複合新領域』以外の者は入力しないでください。 （例）『総合領域』内の細目「情報学基礎（1001）」で申請する場合。 →「分科・細目コード表」を参照すると○印のある「数物系科学」領域と「工学」領域の2領域が審査可能領域であるため、この2つのいずれかを選択してください。
DC ⑥	PD ⑥	専門分野	分科・細目にかかわらず、自分の専門分野を漢字等により7字以内で入力してください。
DC ⑦	PD ⑦	氏名（登録名）	登録名は、特別研究員採用者として公表する際など、通常特別研究員として本会で取り扱う際に使用する氏名です。旧姓や通称名等を使用することも可能です。初期値としては戸籍名を表示していますので、適宜修正してください。
		氏名（戸籍名）	ID・パスワード発行の際、申請機関から事前に電子申請システムに登録された情報が自動表示されます。万が一、誤りがあった場合は、入力データを一時保存した上で「申請機関担当者（又は申請機関の部局担当者）」に連絡し、修正を依頼してください。
		氏名（ローマ字表記）	ローマ字表記については希望するものを入力してください。こちらは、英文証明書発行時等に使用しますので、入力の際にはご注意ください。 入力は、姓は全て大文字、名およびミドルネーム（DCのみ）は最初の一文字のみ大文字、以降は小文字です。 （証明書使用時の例：YAMADA, Taro M.）
DC ⑧	PD ⑧	性別	男・女いずれかを必ずチェックしてください。
DC ⑨	PD ⑨	国籍	「日本」「日本以外」のいずれかを必ずチェックしてください。 「日本以外」にチェックした場合のみ、「一覧」ボタンをクリックし「国名コード表」を参照して「国名コード」を入力してください。該当するものが無い場合は「ZZZ」を入力し、具体的な国名をテキストで入力してください。 「日本」にチェックした者は入力しないでください。（「日本」と入力も不可）
DC ⑨	PD ⑨	永住許可の有無	「国籍」欄で「日本以外」にチェックした場合のみ、プルダウンメニューから永住許可の有／無のいずれかを必ず選択してください。 DC申請者で「無」を選択した者は、「⑮外国人留学生に対する奨学金等受給の有無」欄に、現在の状況について入力してください。 PD申請者の場合、日本国籍以外の者は永住許可がなければ申請資格がないので、日本に永住を許可されていることを証明する「外国人登録済証明書」又は「外国人登録原票記載事項証明書」等を添付してください。（本作成要領P.11参照） 従って、在留資格が「留学」「日本人の配偶者等」の者はPDに申請できません。
DC ⑩	PD ⑩	生年月日	ID・パスワード発行の際、申請機関から事前に電子申請システムに登録された情報が表示され、それに基づき、平成25年4月1日現在の満年齢も自動表示されます。

DC ⑩	PD ⑩	生年月日	この年齢が募集要項に記載の年齢要件を満たしていない場合は申請できません。 万が一、誤りがあった場合は、「申請機関担当者(又は申請機関の部局担当者)」に連絡し、修正を依頼してください。
DC ⑪	PD ⑪	学 歴	学部・修士課程(博士前期課程を含む)に係る学歴を入力してください。 必要事項を正確にテキストで入力し、不要な文字は消去してください。必要に応じて行をずらしても構いません。 1行に40字まで入力可。第1行目は省略しないでください。
DC ⑫	PD ⑫	(博士の状況) 入学年月	(1) 在学/修了した博士課程の状況を入力してください。 (DC1の例) 2013年4月 入学 見込 (PDの例) 2009年4月 入・進学 (2) 複数の博士課程に在学したことがある場合や、複数の学位を取得している者は、今回の申請に係る学位取得等に係るものを入力し、「博士に係る学歴の特記事項の有無」欄を「有」とした上で、「博士の追記事項」欄に、他の在学した博士課程の状況や学位取得状況についてテキストで入力してください。 (3) 「3年次編入学」の場合は、そのように選択しその年月を入力してください。 ※ ここでの「3年次編入学」は、修士課程修了者が5年一貫制博士の3年次に編入学することを指します。それ以外の変則的な編入学に該当する場合には、入学種別を「入・進学」とした上で、「博士に係る学歴の特記事項の有無」欄を「有」とし、「博士の追記事項」欄に具体的にテキストで入力してください。 (4) PDで「転入学」の場合は、そのように選択しその年月を入力してください。また、「博士に係る学歴の特記事項の有無」欄を「有」としてください。 (5) PDで論文博士取得(見込)の者については、空欄としてください。ただし、当該課程において、「単位取得済満期退学」又は「中途退学」している場合は、入力してください。
DC ⑫	PD ⑫	(博士の状況) 大学院名	「一覧」ボタンをクリックし「機関コード表」を参照して入力してください。該当するものが無い場合は「9999」を入力し、具体的な機関名をテキストで入力してください。
DC ⑫	PD ⑫	(博士の状況) 研究科名	「一覧」ボタンをクリックし「部局コード表」を参照して入力してください。該当するものが無い場合は「9999」を入力し、具体的な部局名をテキストで入力してください。
DC ⑫	PD ⑫	(博士の状況) 研究科種別	「研究科」「教育部」「学府」「学院」「学舎」「学術院」のうち該当するものをプルダウンメニューで選択してください。該当するものがない場合は、「その他」を選択し、具体的な研究科種別をテキストで入力してください。なお、「研究科」以外の「教育部」等は、学校教育法第100条ただし書に基づき、研究科に代えて正式に設置された「研究科以外の教育研究上の基本組織」を指します。「学院」を「大学院」と混同しないでください。
DC ⑫	PD ⑫	(博士の状況) 専攻名	具体的な専攻名をテキストで入力してください。
DC ⑫	PD ⑫	(博士の状況) 課程種別	(1) プルダウンメニューから次のいずれかを選択してください。 ・博士課程(3年制)・・・区分制博士課程の後期課程、後期課程のみの博士課程 ・博士課程(5年一貫制)・・・5年一貫制博士課程(本作成要領P.9参照) ・博士課程(医・歯・薬・獣医学系4年制)・・・博士(医学)、博士(歯学)、博士(薬学)、博士(獣医学)等を授与する4年制の博士課程 ・外国における博士課程(PDのみ) (2) これらに該当しない課程の場合は、募集要項18. 本募集に関する連絡先に記載の連絡先に電話で問い合わせてください。 (例) 本来3年制の課程だが大学により4年間の長期履修コースが設置されている場合など (3) PD申請者で論文博士取得(見込)の者は、「博士課程(3年制)」を選択してください。 (4) 外国における博士相当の学位取得(Ph.Dなど)(見込)の者は、「外国における博士課程」を選択してください。

DC ⑫	PD ⑫	(博士の状況) 課程種別	<p>(5) 専門職学位課程は、博士課程には含まれません。</p> <p>(6) 「博士課程（医・歯・薬・獣医学系4年制）」を選択した者で、平成25年4月1日現在の年齢が35歳以上となる者は、「臨床研修の実績」についてプルダウンメニューから次のいずれかを選択してください。また、該当者は「臨床研修の期間を証明する書類」を添付してください。（本作成要領P.12参照）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医学（平成12年改正前の医師法に基づく臨床研修を修了） ：平成16年3月31日以前より行われた1年以上の初期臨床研修 ・医学（平成12年改正医師法に基づく臨床研修を修了） ：平成16年4月1日以降より行われた2年以上の初期臨床研修 ・歯学（1年以上の臨床研修を修了） ：平成18年3月31日以前より行われた平成12年改正前の歯科医師法の努力義務規定に基づく研修も含む。 ・獣医学（6月以上の臨床研修を修了） ：獣医師法に基づく研修
	PD ⑫	(博士の状況) 修了・退学等	<p>(1) 修了区分としては、プルダウンメニューから次のいずれかを選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修了 ・単位修得済満期退学 ・中途退学 ・標準修業年限を超えて博士在学延長 <p>(2) 申請時から採用日までに「修了」等する予定の場合は、「見込」としてください。</p> <p>(3) 人文学・社会科学の学位の取得が著しく困難な分野を専攻する者が募集要項4.(3)学位の①のただし書きに基づき申請する場合は、「単位修得済満期退学」を選択し、満期退学年月を入力してください。</p> <p>(4) 「標準修業年限を超えて博士在学延長」は、平成25年4月1日現在で標準修業年限を超えるためPDに申請する者が選択してください。 (例) 申請時に博士課程（3年制）の3年次に在学する者で、翌年4月以降も引き続き当該博士課程に在学を継続する予定の者</p> <p>(5) 「標準修業年限を超えて博士在学延長」を選択する者は、修了年月は空欄としてください。</p> <p>(6) 論文博士取得（見込）の者については、原則として空欄としてください。ただし、当該博士課程において、過去に「単位修得済満期退学」又は「中途退学」している場合は、その退学年月を入力してください。</p>
	PD ⑫	(博士の状況) 学位	<p>(1) 学位種別としては、プルダウンメニューから次のいずれかを選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博士取得 ・論文博士取得 ・外国における博士相当の学位取得(Ph.D など) <p>(2) 申請時から採用日までに「博士取得」等する予定の場合は「見込」としてください。</p> <p>(3) 「標準修業年限を超えて博士在学延長」する者は、本欄の入力事項に該当が無いので、空欄としてください。</p>
	PD ⑫	(博士の状況) 学位付記専攻分野	<p>(1) 「学位」欄の学位種別として、「博士取得」「論文博士取得」を選択した者のみ、取得（見込）の博士の学位について、学位に付記される専攻分野名を入力してください。</p> <p>(2) 全角19字以内で入力してください。それより長くなる場合は、「博士の追記事項」欄に正確な専攻分野名を入力してください。</p> <p>(3) 自動で「()」が前後に追加されますので、名称のみ入力してください。</p>
DC ⑫	PD ⑫	(博士の状況) 休学期間合計	<p>博士課程在学中に休学期間がある場合に、休学期間の合計及びその内訳を入力してください。なお、休学期間の内訳を入力する際、休学期間が連続する場合は1行にまとめて入力してください。</p>

DC ⑫	PD ⑫	(博士の状況) 休学期間 合計	(例) 休学期間：平成 21 年 10 月～平成 22 年 3 月 平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月 → 1 行にまとめて、「平成 21 年 10 月～平成 23 年 3 月」と入力。 DC 申請者で該当がある場合は、休学証明書を添付してください。(本作成要領 P. 11 参照) ・平成 25 年 3 月までに休学を予定している場合は、その期間も含めてください。 ・修士課程(博士前期課程含む)在学中の休学分は算入しないでください。 ・休学理由等を記載したい場合は、下の「博士の追記事項」欄に記入してください。
DC ⑫	PD ⑫	(博士の状況) 平成 25 年 3 月末時点 における博 士在学期間 累計	入学日から平成 25 年 3 月末日(既に修了している場合は修了日)までの通算期間が計算され、確認画面に表示されます(休学がある場合には「休学期間の合計」に入力した期間を差し引いたものとなります)。 この博士在学期間の累計で、申請資格が決まります。 ※例 区分制(3 年制)の博士課程で平成 25 年 4 月 1 日現在、 ・在学期間の累計が 6 ヶ月の場合 → 累計が 1 年未満のため「DC1 申請」 ・在学期間の累計が 1 年の場合 → 累計が 1 年を超えるため「DC2 申請」 ・在学期間の累計が 3 年の場合 → 累計が 3 年を超えるため「PD 申請」
DC ⑫		(博士の状況) 採用開始時 点における 在学年次	DC 申請者のみ、採用開始時点(平成 25 年 4 月)における在学年次を入力してください。
DC ⑫	PD ⑫	(博士の状況) 博士に係る 学歴の特記 事項の有無	博士について下記のような特記事項がある場合は、必ずこの欄を「有」とした上で、「博士の追記事項」欄に具体的かつ正確にテキストで入力してください。 (特記事項の例) 転入学 再入学 短縮修了 長期履修学生 複数の博士取得 など
DC ⑫	PD ⑫	(博士の状況) 博士の追記 事項	「課程種別」で「博士課程(医・歯・薬・獣医学系 4 年制)」を選択した者で、平成 25 年 4 月 1 日現在の年齢が 35 歳以上となるため「臨床研修の実績」を入力した者は、臨床研修の実績を入力してください。1 行に 40 字まで入力可。 ※ 入力例 ・医師法(平成 12 年の改正法)により義務付けられた 2 年以上の初期臨床研修を修了した場合 「平成 20 年 4 月 1 日～22 年 3 月 31 日 〇〇〇〇において医師法(平成 12 年の改正法)16 条の 2 に基づく臨床研修修了」 「博士に係る学歴の特記事項の有無」で「有」を選択した者は、必ず具体的な内容をテキストで入力すること。この場合、第 1 行目は省略しないでください。 他にも休学・研究指導の委託等追記したい学歴事項があれば入力してください。 1 行に 40 字まで入力可。 ※ 入力例 ・短期修了した場合 「平成 21 年 3 月〇〇大学〇〇研究科博士課程 成績優秀につき短縮修了」
DC ⑬	PD ⑬	研究・職歴 等	本会特別研究員以外の同様のフェローシップの採用歴も含めてテキストで入力してください。研究生歴も本欄に入力してください。1 行に 40 字まで入力可。 例：平成 20 年 4 月～平成 22 年 3 月 〇〇会社中央研究所研究員
	PD ⑬	(研究・職歴等) 日本学術振 興会特別研 究員採用歴	該当がある場合のみ、資格について当初の内定・採用の状況と、その後の資格変更の状況を全て入力してください。 (例) DC 2010 年 4 月～2011 年 3 月 DC として申請・採用 PD 2011 年 4 月～2012 年 3 月 DC 2 内定(採用)後、PD に変更 それぞれについて、採用年度(2 桁)と受付番号(5 桁)を分けて入力してください。

	PD ⑬	(研究・職歴等) 日本学術振興会特別研究員採用歴	例：平成22年度採用 受付番号123 → 22 - 00123 と入力 (なお、DCとして申請・採用中にPDに資格変更した場合の採用年度は当初のDCのものとします。)
	DC ⑭	日本学生支援機構等奨学金の貸与の有無	現在の貸与について、該当するものをプルダウンメニューから選択してください。
	DC ⑮	外国人留学生に対する奨学金等受給の有無	日本国籍以外の者のうち、「⑨国籍」入力欄の「永住許可の有無」において「無」を選択した者は、現在の状況について、該当するものをプルダウンメニューから選択してください。「有」又は「申請中」を選択した場合は奨学金名を入力してください。日本国籍の者は入力しないでください。 (例) 国費留学生
	DC ⑯	PD ⑭	研究課題名 <ul style="list-style-type: none"> 研究課題名は具体的な研究内容を40字以内(記号、数字等も全角/半角に関わらずすべて1字として数える)で簡潔に入力してください。40字を超えて入力することはできません。 研究課題名には、副題を入力しても差し支えありません。特に共同研究課題の場合は、申請者が担当する部分を副題として記載してください。ただし、副題を含めて40字以内としてください。 化学式、数式による表記は避け、漢字、カナ等入力してください。ただし、DNA等アルファベットで表記することが一般的なものは差し支えありません。 漢字等で書く例：H₂O→水 JIS 第1水準及び第2水準以外の文字コードや特殊フォントは使用することができません。詳細は、「研究者養成事業用申請者向け操作手引」を参照してください。 (使用できない文字の例) <ul style="list-style-type: none"> 半角カナ ○数字(①、②、③・・・) ローマ数字(I~Vの小文字を含む) 他 採用内定となった後、「科学研究費補助金(特別研究員奨励費)」に応募する際の課題は、この研究課題名と同一のものとしてください。 なお、申請書提出後、研究課題名を変更することはできません。
	PD ⑰	大学院在学当時の所属研究室(出身研究室)と受入研究室との関係	<ul style="list-style-type: none"> 「大学院在学当時の所属研究室」とは、区分制でいう、大学院博士課程在学当時の所属研究室を指します。大学院修士課程と混同しないよう、注意してください。 「受入研究室」とは、「採用後の受入研究者」欄に記載した研究者が所属する研究室を指します。 「同一研究室」を選択した場合は、「大学院在学当時の所属研究室(出身研究室)選定理由書」を添付してください。(募集要項4申請資格.(3)「採用中の研究従事機関」参照) ただし、標準修業年限を超えるためにPDに申請する者は、通常は博士課程に継続して在学するため「同一研究室」を選ぶこととなりますが、その場合は「大学院在学当時の所属研究室(出身研究室)選定理由書」は提出する必要はありません。 「同一大学等」を選択した場合は、特別研究員・SPDの対象外となります。(募集要項4申請資格.(5)特別研究員・SPD参照) ※大学の統廃合による名義上の移動は同一大学とみなします。 「同一研究科内の他研究室」を選択し、「⑫博士の状況の研究科名」と「⑱採用後の受入研究者」の部局が異なる場合は、エラーが表示されますので、「⑫博士の状況の博士に係る特記事項」を“有”として、その旨を記載しエラーを回避してください。
	PD ⑰	出身大学院の研究指導者	<ul style="list-style-type: none"> PD申請者は学位取得の博士課程における研究指導者を必ず入力してください。 論文博士の場合は、それに代えて論文審査の主査を入力してください。 所属機関・部局・職名は、申請者の所属する大学院研究科における身分を入力し、修了当時の内容としてください。 「所属機関」欄は、原則として「⑫博士の状況」の「大学院名」欄に入力したものと一致させてください。

	PD ⑰	現在の受入研究者	<ul style="list-style-type: none"> 原則としてPD申請者は入力してください。ただし、申請時において研究機関に所属していない場合等、現在の受入研究者に該当するものがない場合は空欄でも構いません。 複数の身分を兼ねている場合は、原則として本務を入力してください。ただし、標準修業年限超えでのPD申請者（募集要項の4.申請資格(3)「学位」②を参照）は、申請者の所属する大学院研究科における身分を入力してください。 																
	DC ⑰	現在の研究指導者	<ul style="list-style-type: none"> DC申請者は必ず入力してください。 「研究指導の委託」により、正規の学生として在籍している大学院を一時的に離れ、他大学等で研究を行っている場合でも、正規の学生として在籍する大学院における研究指導者（学籍上の指導教員。身分は申請者の所属する大学院研究科。）を入力してください。（DC⑱の採用後の受入研究者についても同様。） 大学外の研究者が、「連携大学院」協定等により、大学院の客員教員等として研究指導者となっている場合は、申請者の所属する大学院研究科における身分を入力してください。 																
	DC ⑱	採用後の受入研究者	<ul style="list-style-type: none"> DC、PD申請者ともに必ず入力してください。 必ず受入研究者本人と連絡をとり、受入について承諾を得てください。なお、採用内定となった後、改めて受入研究者及び受入機関から受入承諾書を求めることとなります。 DC申請者は、学籍上の指導教員（身分は申請者の所属する大学院研究科）を入力してください。（DC⑰の現在の研究指導者と同様。） DC申請者は、入力画面の「現在の研究指導者の内容を複写」という文字をクリックすれば、この「採用後の受入研究者」欄に入力内容を複写できます。 ただし、なんらかの事情で、採用後の受入研究者が「現在の研究指導者」とは異なる者となる場合は、直接入力してください（例えば、当該教員の定年等により年度末に研究指導者が交代することが既に明らかとなっている場合など）。 DC1申請者で「採用後の受入研究者」が未定の場合は次のように入力してください（例えば、申請時には博士課程入試の結果が出ていないため未定の場合など）。 <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">氏名（フリガナ）*（姓）</td> <td style="width: 30%;">「ミテイ」と入力</td> <td style="width: 20%;">所属機関コード*</td> <td style="width: 20%;">入学を希望する大学のコードを入力</td> </tr> <tr> <td>（漢字等）*（姓）</td> <td>「未定」と入力</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>職名コード*</td> <td>「005」と入力</td> <td>部局コード*</td> <td>入学を希望する部局のコードを入力</td> </tr> <tr> <td>科研費研究者番号*</td> <td>「99999999」と入力</td> <td>部局種別*</td> <td>該当する部局種別を入力</td> </tr> </table> PD申請者で、複数の機関に籍を置く研究者を採用後の受入研究者とする予定の者は、その研究者が本来籍を置く機関を受入研究機関とし、当該機関における受入研究者の所属・職名を入力してください。（申請については、当該機関を通して行うこととなります。）ただし、標準修業年限超えでのPD申請者（募集要項の4.申請資格(3)「学位」②を参照）は、申請者の所属する大学院研究科における身分を入力してください。 「部局正式名」欄は、大学・大学共同利用機関の場合は、部局コードと部局種別をつなげた場合の正式名（「系」の有無などを反映したもの。（例）部局コード：0056工学（系）・部局種別：研究科→正式名称「工学研究科」）を入力してください。和文証明書発行時に使用しますので、正式名を必ず確認の上、入力してください。 	氏名（フリガナ）*（姓）	「ミテイ」と入力	所属機関コード*	入学を希望する大学のコードを入力	（漢字等）*（姓）	「未定」と入力			職名コード*	「005」と入力	部局コード*	入学を希望する部局のコードを入力	科研費研究者番号*	「99999999」と入力	部局種別*	該当する部局種別を入力
氏名（フリガナ）*（姓）	「ミテイ」と入力	所属機関コード*	入学を希望する大学のコードを入力																
（漢字等）*（姓）	「未定」と入力																		
職名コード*	「005」と入力	部局コード*	入学を希望する部局のコードを入力																
科研費研究者番号*	「99999999」と入力	部局種別*	該当する部局種別を入力																
	PD ⑲	評価書作成者1（採用後の受入研究者）	「次へ進む」又は「一時保存」をクリックすると、「⑱採用後の受入研究者」欄に入力された内容が自動的に複写されます。																
	PD ⑳	評価書作成者2	「日本学術振興会特別研究員申請者に関する評価書（PD）2」作成者の氏名等を入力してください。プルダウンメニューから選択することにより、「⑰現在の受入研究者」欄に入力した内容を複写することが可能。																

DC ⑰ ⑱ 共通事項	PD ⑰ ⑳ 共通事項	【研究者情報の入力について】 ※入力方法については、下欄を参照してください。	
		職名	「職名コード」を、「一覧」ボタンをクリックし「職名コード表」を参照して入力してください。該当するものが無い場合は「999」を入力し、具体的な職名をテキストで入力してください。
		科学研究費補助金研究者番号	研究者本人又は所属機関事務局に問い合わせを入力してください。 なお、科学研究費補助金研究者番号を有する研究者（同補助金応募資格者）以外の者であっても差し支えない。研究者番号を有しない場合又は不明の場合には、「99999999」と入力してください。
		所属機関	「所属機関コード」を、「一覧」ボタンをクリックし「機関コード表」を参照して入力してください。廃止や統合等でコード表に記載されていない機関及び海外の機関については、「9999」を入力し、具体的な機関名をテキストで入力してください。
		部局	「部局コード」を、大学(放送大学含む)・大学共同利用機関の場合は「一覧」ボタンをクリックし「部局コード表」を参照して入力してください。該当するものが無い場合は「9999」を入力し、具体的な部局名をテキストで入力してください。 大学・大学共同利用機関以外の場合は、空欄としてください。
		部局種別	大学・大学共同利用機関の場合のみ入力してください。 大学の場合は、「学部」「学系」「研究科」「附置研等」「研究院」のうち該当するものをプルダウンメニューで選択してください。該当するものがない場合は、「その他」を選択し、具体的な部局種別をテキストで入力してください。大学内の研究所や大学共同利用機関の場合は、「附置研等」を選択してください。
DC ⑲	PD ㉑	現住所	郵便番号は、現住所が日本国内の場合のみ入力してください。(入力例：123-4567) 「住所1」～「住所3」欄には、住所を適切なところで区切って入力してください。アパート・マンション・ビル等の名称および「〇〇様方」など、郵便物が確実に届くよう、必要な情報は全て入力してください。
DC ㉒	PD ㉒	所属機関 (所在地・機関名・部局等名)	郵便番号は、所属機関が日本国内の場合のみ入力してください。 現在、研究に従事している(実際に身を置いている)機関について入力してください。略さず、研究室名まで入力してください。所属機関のない者は未入力で構いません。 特に「希望連絡先」として「所属機関」を希望する場合は、確実に届くように、必要な情報は全て記載(研究室名まで入力)してください。
DC ㉓	PD ㉓	希望連絡先	審査結果の開示については電子申請システム上で行いますが、申請・審査中・採用手続き時に連絡が必要な場合に使用するための連絡先として希望するものを選択してください。日本国内に限ります。 上記の「現住所」又は「所属機関」を連絡先としたい場合は、「1. 現住所」又は「2. 所属機関」のボタンを選択すれば、自動的に上の「現住所」欄又は「所属機関」欄で入力済の内容がこの「希望連絡先」欄にコピーされます(後から「現住所」欄又は「所属機関」欄を修正した場合も同様)。ただし、「現住所」又は「所属機関」が海外の場合はその宛先を希望連絡先として選択しないでください。 「現住所」「所属機関」のいずれとも異なる住所(実家等)を希望連絡先としたい場合は、「3. その他」のボタンを選択し、直接入力してください。 郵便物等確実に受け取れる住所となるよう、「現住所」「所属機関」「その他」欄の入力の際に留意してください。(〇〇研究室、△△様方など必要な情報は全て記載してください。)(居住していない住所の場合は、「〇〇様方」の記載が必要です。) なお、機関によっては、学生宛の郵便物を受け取らないところもあるので、希望連絡先はできる限り現住所としてください。 また、本欄に記入した内容が今後の本会からの連絡先となるので、変更が生じた場

DC ⑳	PD ㉓	希望連絡先	合は、直ちに届け出てください。 e-mailについては、今年中申請者本人と確実に連絡の取れるアドレス（海外も可）を正確に記載してください。申請書情報入力時、「希望連絡先」として登録した e-mail にアドレス確認のためメールを送信します。メールの受信を確認した上で、申請書情報の入力を完了してください。
---------	---------	-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【参考】 5年一貫制の博士課程（平成23年4月1日現在）。

このほかにも、申請受付時まで追加となっている場合があるので、各自大学に確認してください。

<国立大学>

筑波大学大学院	人文社会科学研究科（哲学・思想専攻、歴史・人類学専攻、文芸言語専攻）、生命環境科学研究科（生命共存科学専攻）、
京都大学大学院	アジア・アフリカ地域研究研究科（東南アジア地域研究専攻、アフリカ地域研究専攻、グローバル地域研究専攻）
大阪大学大学院	生命機能研究科（生命機能専攻）
岡山大学大学院	自然科学研究科（地域惑星物質科学専攻）
九州大学大学院	システム生命科学府（システム生命科学専攻）
長崎大学大学院	工学研究科（グリーンシステム創成科学専攻）、水産・環境科学総合研究科（海洋フィールド生命科学専攻）
総合研究大学院大学大学院	物理科学研究科（構造分子科学専攻、機能分子科学専攻、天文科学専攻、核融合科学専攻、宇宙科学専攻）、高エネルギー加速器科学研究科（加速器科学専攻、物質構造科学専攻、素粒子原子核専攻）、複合科学研究科（統計科学専攻、極域科学専攻、情報学専攻）、生命科学研究科（遺伝学専攻、基礎生物学専攻、生理科学専攻）、先導科学研究科（生命共生体進化学専攻）

<私立大学>

青山学院大学大学院	総合文化政策学研究科（総合文化政策学専攻）、国際マネジメント研究科（国際マネジメントサイエンス専攻）
国際仏教学大学院大学大学院	仏教学研究科（仏教学専攻）
同志社大学大学院	総合政策科学研究科（技術・革新的経営専攻）
立命館大学大学院	先端総合学術研究科（先端総合学術専攻）
東亜大学大学院	総合学術研究科（医療科学専攻、人間科学専攻、デザイン専攻、臨床心理学専攻）

Ⅲ 申請内容ファイルの作成について

(1) 下記の点に注意のうえ、作成してください。

- ① 10ポイント以上の文字で記入してください。
- ② 日本語又は英語で記入してください。
- ③ 手書きで記入する場合は、黒インク又は黒ボールペンで丁寧に記入してください。
- ④ 様式中の各項目について枠の拡大縮小等の変更、指定されたもの以外の項目を付け加えること、及び記入しない項目の省略等、様式の加工・変更はできません。
- ⑤ 所定の様式以外に新たに用紙を加えることはできません。本会が指定した書類以外も添付できません。

注：上記のルールに従わなかった場合には、審査にあたり不利益を生じることがあります。

(2) 本会ホームページに募集要項・「申請内容ファイル」（申請書のP.3以降）の電子ファイルを公開しているので、活用してください。

本会「特別研究員」ホームページ (<http://www.jsps.go.jp/j-pd/index.html>)
→ 「申請手続き」 → 「募集要項(PD・DC2・DC1)」 → 「申請書等様式」

(3) PD申請書のP.11、P.12、DC申請書のP.10は空欄となる場合も、様式の枠はそのまま残して提出してください。

「4. 研究業績」欄の記入例

下記はあくまでも一例であり、体裁は申請書に記載されている注記を踏まえた上で、適宜調整してください。

(1) 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文、著書

（査読有り）

1) 学振太郎¹、半蔵門花子²、・・・ 「(題名)」、『(掲載誌名)』、〇〇出版、〇号、pp57-62、2003

2) 麴町治郎³、学振太郎¹、・・・ 「(題名)」、『(掲載誌名)』、〇〇出版、〇号、pp33-39、2009

他 5 報

注：著者の所属・職（論文発表時）

1〇〇大学〇〇研究科大学院生、2〇〇大学〇〇学部助教、3〇〇大学〇〇研究科教授、・・・

書ききれない場合で省略する場合は、項目別に省略した数を記載してください。

著者の所属及び職名等を記載してください。

(2) 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説

1) 学振太郎、・・・ 「(題名)」、『(掲載誌名)』、〇〇出版、〇号、pp57-62、2006

(3) 国際会議における発表

（口頭発表 査読有り）

1) 〇Gakushin T, Hanzoumon H,・・・ 「(題名)」、『(学会名)』、BB-11、Los Angeles, USA、(June 2005)

他 2 件

パンフレット等に掲載された際に付された番号があれば記載してください。

(4) 国内学会・シンポジウム等における発表

（口頭発表 査読無し）

1) 〇学振太郎、半蔵門花子、・・・ 「(題名)」、『(学会名)』、No.200、仙台、2004年9月

(5) 特許

（公開中）

1) (特許の番号) 号、「(名称)」、麴町治郎、学振太郎、2004年4月

(6) その他（受賞歴等）

1) 学振太郎、・・・「(賞の名称)」、2004年4月

既に「発表(印刷)済」のもの、証明書類の添付が必要な「発表(印刷)前」のものに分けて記載してください。

【発表(印刷)前】

(1) 学術雑誌等(紀要・論文集等も含む)に採録決定されたもの(査読有り)

1) 麴町治郎¹、学振太郎²、・・・ 「(題名)」、『(掲載誌名)』、〇〇出版、〇号、pp33-39、2012

注: 著者の所属・職

¹ 〇〇大学〇〇学部教授、² 〇〇大学〇〇研究科大学院生、・・・

▶(証明書①添付)

証明書類は電子メール等の写しでも構いません。論文等は添付しないでください。証明書の右上に「証明書①」と記載してください。

(4) 国内学会・シンポジウム等における発表の申し込みが受理されたもの

1) 〇学振太郎、半蔵門花子、・・・ 「(題名)」、『(学会名)』、No.201、東京、2012年7月(証明書②添付)

IV 申請書の添付書類について

※ 下記の書類を、PD申請書の場合P.12の後、DC申請書の場合P.10の後に添付してください。

(1) 「大学院在学当時の所属研究室(出身研究室)選定理由書」【該当者のみ】……………原本1部、写し6部

「大学院出身研究室」と採用後の研究従事機関における研究室が同一であるときは原則として特別研究員-PD申請資格に該当しませんが、特別研究員等審査会の判定により例外を認めることがあります。その例外の扱いを希望する場合には、本理由書を提出してください。提出に当っては、右下隅を黒く塗りつぶしてください。

なお、申請資格の審査方法及び過去の状況は下記の本会HPに掲載しています。

申請資格の審査方法

本会「特別研究員」ホームページ (<http://www.jsps.go.jp/j-pd/index.html>)

→「審査」→「選考方法」→「特別研究員-PDの申請資格の審査方法」

過去の申請資格審査の状況

本会「特別研究員」ホームページ (<http://www.jsps.go.jp/j-pd/index.html>)

→「審査」→「申請資格審査状況」

少なくとも、「⑯出身大学院の研究指導者」と「⑱採用後の受入研究者」が同一人であるときは、同一研究室としてみなされることとなります。

ただし、標準修業年限を超えて博士在学延長を予定しているためにPDに申請する場合には、採用後も「⑯出身大学院の研究指導者」が「⑱採用後の受入研究者」として引き続き指導を行うこととなるので、本理由書は提出しないでください。

(2) 「外国人登録済証明書」【該当者のみ】……………1部

特別研究員-PD申請者で日本国籍以外の者は、日本に永住を許可されていることを証明する外国人登録済証明書又は外国人登録原票記載事項証明書等を添付してください(申請書原本にのみ添付)。

(3) 「休学証明書」【該当者のみ】……………1部

特別研究員-DC申請者で博士課程在学中に休学した期間がある場合は、大学の発行する休学証明書を添付してください(申請書原本にのみ添付)。

修士や博士前期課程のものは不要なので添付しないでください。

申請時より後に休学する予定があり、その休学の有無によってはPD、DC2又はDC1の資格区分が変わってしまう者については、休学期間に休学予定期間を含めた場合に該当する資格区分で申請し、DC2又はDC1の場合は所属機関に提出予定の「休学届」等の写しを本証明として添付してください。なお、申請後に休学を取りやめ、申請した資格区分の要件を満たさなくなった場合には、採用することはできません。

(4) 「臨床研修の期間を証明する書類」【該当者のみ】……………1部

医師法、歯科医師法又は獣医師法に定められた臨床研修を修了した者のうち医学、歯学又は獣医学を履修する4年制の博士課程在学者又は修了者で、採用開始日現在35歳以上37歳未満である申請者は、当該臨床研修を修了した機関等から発行された証明書類を添付してください（申請書原本にのみ添付）。

当該証明書類は、「医師法、歯科医師法又は獣医師法16条の2に基づく臨床研修であること」、「当該臨床研修を修了したこと」及び「臨床研修の期間」が明記されたものとします。臨床研修病院から交付された「臨床研修修了証」の写しをもって代えても構いません。

臨床研修を行ったが、修了まで至っていない場合は該当しません。研修期間等必要事項については、下表を参照してください。

根拠となる法律	採用開始日 現在の年齢	研修期間等の必要事項
医師法	36歳以上 37歳未満	平成12年改正医師法に基づく2年以上の臨床研修（平成16年4月1日の施行日以降に行われた初期臨床研修）を修了した者
	35歳以上 36歳未満	平成12年改正前の医師法に基づく1年以上の臨床研修を修了した者、又は、平成12年改正医師法に基づく2年以上の臨床研修（平成16年4月1日の施行日以降に行われた初期臨床研修）を修了した者。
歯科医師法	35歳以上 36歳未満	1年以上の臨床研修を修了した者【平成18年3月31日以前より行われた平成12年改正前の歯科医師法の努力義務規定に基づく研修を含む】
獣医師法	35歳以上 36歳未満	6月以上の臨床研修を修了した者【獣医師法に基づく研修】

なお、採用開始日現在35歳未満である者は、当該臨床研修を修了していても、当該証明書類は添付不要です。

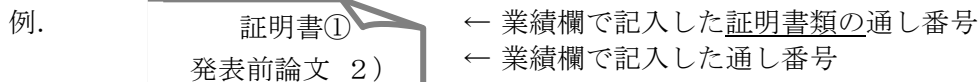
(5) 「論文等の採録決定を証明する書類」【該当者のみ】……………原本1部、写し6部

- 「申請内容ファイル」の「4. 研究業績」欄の「(1) 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文、著書」で、まだ印刷されていないが、採録決定(アクセプト)の通知を受けているものについては、そのことを証明する書類を添付してください。「4. 研究業績」及び証明書類に「証明書①」等証明書類の通し番号を記載し、どの研究業績の内容か分かるようにしてください。まだ印刷されていない論文で、当該証明書類を添付できないものについては、同欄に記載できません。

- 証明書類は申請書提出時に添付できるものに限り、申請書提出後、改めて追加することはできません。

- 証明書類は原則として原本を添付してください。
ただし、当該出版社等が採録決定について電子メールやWeb上による通知しか行っていない場合は、それを印刷したもので代えても構いません。その際、論文採録決定の証明に関する記述と、論文本体が一体となっている場合など、全体の枚数が多くなっているものについては、全てをそのまま添付するのではなく、「論文タイトル」「執筆者」「当該論文を採録決定している旨の記載」および出版社や編集者など送信元の情報（署名等）が含まれる部分ページを抜粋し、両面コピー1～2枚程度にまとめて添付してください。その際、「採録証明に関する部分のみ抜粋」等の説明を余白に記入してください。内容のみを抜粋してWord等にコピー・貼付したものではありません。電子メール等を直接印刷し、ページを抜粋して添付してください。

- 添付する証明書類への付番例。右上にいずれの業績に関するものかを明記してください。



- 印刷済、オンライン出版済のものについては、採録決定を証明する書類を添付する必要はありません。
- 論文の抜き刷りは添付しないでください。

(6) 「国際会議等の発表申し込みの受理を証明する書類」【該当者のみ】……………原本1部、写し6部

- 「申請内容ファイル」の「4. 研究業績」欄の「(3) 国際会議における発表」または「(4) 国内学会・シンポジウム等における発表」で、まだ発表されていないが、発表申し込みが受理されたものについては、そのことを証明する書類を添付してください。「4. 研究業績」及び証明書類に「証明書①」等

